No.330

アムSENSI!

子ども達の大きな成長を実感する瞬間
空手で育つ心と技

今年最後の昇級審査会と昇段審査会が無事に終わりました。
審査会は、毎回子ども達の大きな成長を実感できる貴重な機会であると同時に、指導者として自分自身を振り返り、反省する機会でもあります。
12月13日に実施した昇級審査会では、大半の受審者が合格という結果となり、全体としてとても良い審査会になったと感じています。ただ、3か月間の稽古を振り返ると、もう少し一人ひとりに対して細やかな指導ができたのではないかという反省も残りました。それでも、子ども達が日々前向きに努力を重ねてきた姿は十分に昇級に値するものであり、実際に大きな成長を見せてくれたと強く実感しています。
また、12月21日には和道流空手道連盟の昇段審査会が実施され、今回は古賀道場から10名（一般参段1名、少年初段9名）が挑戦しました。審査会に向けて十分に稽古を重ね、全員が自信を持って臨める状態まで仕上げることができたと感じていましたが、宗家の判断はやはり厳しく、そして的確でした。ここでも指導者として、私自身が深く省みるべき多くの気づきを得ることができました。
昇級審査会は3か月に一度、子ども達（大人の方も含め）の熟練度を測る場です。空手道では「心・技・体」と言いますが、この三つは切り離せないものです。技の熟練度は、身体の発達であり、心の成長そのものでもあります。その技を通して、子ども達の成長のすべてを見ることができるのが審査会なのです。
日頃の稽古の中でも子ども達の成長は感じ取れますが、審査に挑む瞬間の真剣な表情や、そこに宿る真摯な意識に出会えるのは、やはりこの機会ならではのものです。今回の昇級・昇段審査会でも、子ども達一人ひとりの真摯な姿勢をしっかりと確認することができました。
今回の両審査会を通して、子ども達はもちろん、私自身も多くの気づきと成長の糧を得ることができました。それらをまた日々の稽古の中で練り直していきます。技を磨く過程で、子ども達はさらに多くの経験と学びに出会い、自分自身の足りない部分に気づいていくことでしょう。その一つひとつが、心の成長につながっていくのだと思います。
今回、見事に黒帯を取得した子ども達は、同年代の中でも群を抜いて大きな心を育んでいると確信しています。
それこそが、和道流空手道が伝え続けてきた教え、そのものなのです。

和道流技術講習会・昇段審査会

年に二回実施されている和道流技術講習会・昇段審査会が、12月21日に福岡県のシーオーレ新宮にて開催されました。

　数ある空手流派の中で、和道流は唯一、宗家最高師範を戴く流派であり、今回も和道流三代宗家・大塚博紀最高師範をお迎えして、非常に内容の濃い講習会となりました。

この講習会は、各支部の指導者にとって、日頃道場で行っている指導内容を確認し、修正・深化させるための極めて重要な機会です。宗家によるご指導は、日常の稽古内容をはるかに超えた深い部分にまで及ぶものでしたが、その指導力は圧倒的で、小学生であっても理解に至るほど明快でした。実際に、多くの子ども達がその場で宗家の指導を体現し始めている姿が印象的でした。

これは、やはり直接指導を受けてみなければ分からないことであり、実際に受けたかどうかで、その後の成長に大きな差が生まれると強く感じています。それほどまでに重要で価値ある指導を行っていただきました。

今回、段位審査に挑戦した10名の道場生も、もとはと言えば宗家の指導内容を道場で丁寧に積み重ねてきた成果として、審査会に臨むことができました。全員が不安を抱えながらも、自信を持って試技に挑むことができたと思います。私自身も審査員席から見ておりましたが、ほぼ全員が稽古通りの動きを発揮できていたと感じました。

結果として、10名中、少年初段6名が合格となりました。残念ながら4名はわずかに及ばず、昇段は次回に持ち越しとなりましたが、審査後には宗家より一人ひとりに対して的確なアドバイスをいただくことができ、次回に向けて大きな励みとなったことでしょう。

また、今回の審査会より合格発表の方法が変更され、「第1合格（問題なく合格）」と「第2合格（修正点あり、またはもう一歩）」の二段階評価となりました。

　全体で20名以上が受審する中、第1合格者はわずか7名という非常に厳しい結果となりましたが、そのうち4名が古賀道場の道場生である、杠　駿佑くん、林　花那さん、宮崎　すず音さん、そして中川　健翔くんでした。この4名は、日頃の稽古の成果を余すことなく発揮することができたと思います。

第2合格となった濵﨑　安那さん、光山　千布さんについても、審査後に宗家より「なぜ第1合格に至らなかったのか」という点について丁寧な説明と助言をいただくことができました。この経験は、次なる成長への大きな糧となることでしょう。

和道流昇段審査会結果

林 花那（初段）　濵﨑 安那（初段）　杠 駿佑（初段）

光山 千布（初段　）宮崎 すず音（初段）　中川 健翔（初段）